

東豊中

スローガン 横断幕で表現



これがイチオシ

小中高連携し「東翔塾」

東豊中と隣接する多賀城東小、学区内にある多賀城高の3校で2019年度、「多賀城東翔塾」を始めました。学力向上と地域連携を目指す活動で、小学校でのあいさつ運動や小学1年生の登校支援、中学生による防災教育の成果発表、中学校教員による出前授業などに取り組んできました。

21年度は中学生を対象に「東翔塾漢字検定」を実施し、多くの生徒が挑みました。新型コロナウイルスの影響で学校間交流は難しいものの、今後も東翔塾を地域連携の要にしていきます。

学校名 多賀城市立東豊中学校
所在地 多賀城市笠神5の4番の1
創立 1987年
電話 022(362)3416
校長 三浦 仁
生徒 238人

東豊中学校では、昨年度、一枚の横断幕を作製しました。昨年度の生徒会スローガン「惹かれ光る」を、全校生徒の名前でかたどりました。「全校生徒で一つのものを創り、形に残すことで学校の絆を強めた」と。当時の生徒会執行部3年生の熱い思いがきっかけとなりました。実施内容の話し合いから日時の設定、校内放送での予告まで。この企画は計画から実行まで全てを、新旧の生徒会執行部が合同で行いました。「全校生徒を一斉に動

かす難しさを感じた。同時にみんなが楽しそうに参加する様子を見て、やりがいと達成感を得られました」。前会長(山崎真里佳)と前副会長(佐藤優泰)の実感です。現在の会長(小砂子翔太)と副会長(豊若圭)も「生徒会就任後初めての企画で大変なこともたくさんありましたが、達成感は大きかった」と思いは同じ。「今後は強まった結束力を生かし、生徒一人一人の魅力が光る東豊中にしていきたいです」と決意を固めました。



スローガンの横断幕と生徒会の新旧役員

編集委員 山崎真里佳、佐藤優泰(3月卒業、高校1年) 小砂子翔太、豊若圭(3年)
指導教員 鶴見靖彦、高野慎也

新旧生徒会 一緒に作製

わが校わがまち スクール通信



次回は 宮小(蔵王町) 蛇田中(石巻市)

元気にすずめ踊り 達成感

八幡小



これがイチオシ

給食で独自のメニュー

八幡小の給食は毎日、校内の給食室で作られていて、自校給食ならではの2つの特徴があります。一つ目はオリジナルメニューの「八幡汁」。開校90周年を記念したメニューで、地域にちなむ9種類の具材が入っていて、とてもおいしいです。

二つ目は給食の時間に放送を行っていることです。その日の給食を作っている様子の動画や、給食委員会が作った給食の歴史に関する動画などを流します。こうした放送を通し、食について学ぶことができます。

学校名 仙台市立八幡小学校
所在地 仙台市青葉区八幡2の9の1
創立 1927年
電話 022(234)4381
校長 高山 典子
児童 640人

地域との関わり大切に

八幡小学校は地域との関わりに力を入れていきます。毎年夏には、学区内にある国宝の大崎八幡宮と旧国道48号で行われる「どんとロード八幡すずめ踊り」に参加します。すずめ踊りは八幡町で生まれたといわれます。当日はいろいろなすずめ踊り団体が約350以上の区間で、流し踊りをします。八幡小では有志を募り、近くの仙台一中の先輩方と合同で踊ります。踊り続けるのは疲れますが、みんなでやり遂げると達成感を得られます。毎年5月には「わくわく

く八幡体育祭」もありません。児童だけでなく地域の方々も参加し、一体となって盛り上げます。クラス対抗に加え、地域対抗の競技もあることが大きな特徴の一つです。二つの行事とも一昨年は開催できませんでした。今年こそは、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、皆さんに元気あふれるすずめ踊りを見ていただけることを楽しみにしています。八幡小はもう少しで開校100周年を迎えます。今後も地域とのつながりを大切に、活気ある学校にしていきたいです。



「わくわく八幡体育祭」では、子どもたちに交じって地域や保護(ほご)者も玉入れに参加します

編集委員 森本樂、針生麻衣、佐々木秋佳(3月卒業、中学1年) 古谷隆(6年)
指導教員 熊谷健吾